

様式 A 英語 I (山口裕美)

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	英語 I English I		単位 3
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・英語	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	1 年共通	必修・必履修・ 履修選択・選択の別	必履修
	担当教員・所属系	山口裕美・総合理工学科電気電子システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学		
	学習教育目標との関 連	本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」、「⑤グローバルな視点と社会性の養成」、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成」であるが、付随的には「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」に関与する。		
	授業の概要	検定教科書の様々な分野の英文を用いて、内容理解をおこなったうえで、音読や簡単な作文といったアウトプット（話す・書く）活動を実施する。また、その基盤となるインプット（語彙・文法力）活動を実施する。		
	学習目的	4 技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。		
	到達目標	1. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。 2. 高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。 3. 英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。 4. 本文の要旨を英語または日本語でまとめることができる。 ◎コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。		
履修上の注意		本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。		
履修のアドバイス		予習・復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。GTEC を必ず受験すること。		
基礎科目		中学校での学習事項・英語表現 I (1 年)		
関連科目		英語 II (2)・英語表現 II (2)・英語 III (3)・英語 IV (4)・ コミュニケーション学 I (4)・国際英語論 I (4)・ コミュニケーション学 II (4)・国際英語論 II・英語 V (5)		

様式 B 英語 I (山口裕美)

授業にかかわる情報

授業の方法			読解・音読のために、英文の区切りを見つける練習をおこなう。リスニング、読解による内容理解の後、音読練習や要旨作成などの活動をおこなう。また重要な英語例文の暗唱、その応用で簡単な作文を書く練習をおこなう。
授 業 計 画	開講週		内容〔項目〕(指示事項)
	前 期	1 週	● ガイダンス (予習・復習など学習法の説明, 受講上の注意)
		2 週	● Chapter 1 Part 1
		3 週	● Chapter 1 Part 2
		4 週	● Chapter 1 Part 3
		5 週	● Chapter 2 Part 1
		6 週	● Chapter 2 Part 2
		7 週	● Chapter 2 Part 3
		8 週	● 前期中間試験
		9 週	● 前期中間試験返却と解説
		10 週	● Chapter 3 Part 1, 2
		11 週	● Chapter 3 Part 3, 4
		12 週	● Chapter 3 復習
		13 週	● Chapter 5 Part 1, 2
		14 週	● Chapter 5 復習 (前期末試験)
		15 週	● 前期末試験の返却と解説・夏休みの課題説明
	後 期	16 週	● 夏休み課題テスト
		17 週	● Chapter 6 Part 1, 2
		18 週	● Chapter 6 Part 3, 4
		19 週	● Chapter 6 復習
		20 週	● Chapter 7 Part 1, 2
		21 週	● Chapter 7 Part 3, 4
		22 週	● Chapter 7 復習
		23 週	● 後期中間試験
		24 週	● 後期中間試験返却と解説
		25 週	● Chapter 8 Part 1, 2 (冬休み課題, 詳細は別途指示する)
		26 週	● 冬休み課題テスト
		27 週	● Chapter 8 Part 3, 4
		28 週	● Chapter 9 Part 1, 2
		29 週	● Chapter 9 Part 3, 4 ● (後期末試験)
		30 週	● 後期末試験の返却と解説
教科書, 教材等			教科書: 高島英幸監修・鈴木寿一ほか著 NEW STREAM I (増進堂) その他: 予習ノート (教科書専用), 音声 CD, A4 サイズのファイル (2 つ穴), 英和辞典 (電子辞書もしくは冊子)

成績評価方法	前期中間試験から後期中間試験までは、定期試験の結果を平均して評価する（60%）。定期試験の結果に加え、平素の小テスト・課題・授業ノートなど（40%）を総合して成績評価をおこなう。年度末の成績評価は、後期末試験まで加え、上記の方法で算出された結果を 90%に換算し、GTEC の結果を 10%加えて評価する。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。
受講上のアドバイス	積極的に授業に参加すること。講義ならびに音読や英作文の活動は、運用能力向上のための基礎となる。そのため、必ず、教科書・予習ノート・英和辞書を持参し、予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。後期中間試験中に実施される GREC を必ず受験すること。英検などの資格・検定試験を積極的に受験することが望ましい。 遅刻について：授業開始 5 分すぎでの入室は欠課扱いとする。

ルーブリック							
	理想的なレベルの目安（優）	標準的なレベルの目安（良）	未到達レベルの目安（不可）				
評価項目 1	自分の身近なことについて英語で相手に伝えることができる。	自分の身近なことについて簡単な英語で相手に伝えることができる。	自分の身近なことについて英語で相手に伝えることができない。				
評価項目 2	文法事項や構文を修得し表現に利用できる。	文法事項や構文を修得しているが表現には利用できない。	文法事項や構文を修得しておらず表現にも利用できない。				
評価項目 3	英文を正しい区切りやイントネーションで流ちょうに音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	60	0	0	0	30	10	100
基礎的能力	60	0	0	0	30	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0